

歴史

7. 勝山市の歴史

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
紀元前13000年頃 紀元前10000年頃	旧石器時代 縄文時代草創期	猪野口地区周辺でナイフ形石器などが使われる(猪野口南幅遺跡) 平泉寺町赤尾地区周辺で、動物を捕獲するための 槍の先に付けられた石器(槍先形尖頭器)が使われる
紀元前5000年頃	縄文時代早期	滝波地区破入・壁倉地区幕根・ 嶗崎地区三室・暮見地区古宮などで集落が形成
紀元前2500年頃	縄文時代中期	三室遺跡や滝波遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前1500年頃	縄文時代後期	鹿谷町本郷遺跡や北郷町上野遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前500年頃	縄文時代晩期	猪野口地区大島田遺跡や北郷町志比原遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前100年頃 300～500年頃	弥生時代 古墳時代	鹿谷町発坂や北郷町森川周辺の段丘上に弥生集落が形成 荒土町別所や平泉寺町大渡、鹿谷町発坂、西光寺など 集落を見下ろす山の尾根上に有力な人々の古墳が形成
717年	養老元年	伝、泰澄大師白山を開く
930年頃	承平年間	墨書土器に猪野毛屋附近をさすと思われる「毛屋口」の名が記される
1147年	久安 3年	平泉寺を比叡山延暦寺末とする院宣出る
1341年	興国 2年	新田義貞(南朝側)の武将、畑時能が伊知地の鷲ヶ岳で戦死する
1524年	大永 4年	平泉寺で臨時祭礼があり流鏝馬の神事が奉納される
1541年	天文10年	平泉寺賢聖院の充海が学頭職を顕海に譲る
1574年	天正 2年	平泉寺が、一向一揆の攻撃で全山焼失する
1575年	3年	柴田義宣が七山家の一揆平定に着手する
1577年	5年	柴田義宣は討死、養子勝安が一揆を平定する
1580年	8年	柴田勝安は村岡山の居城を袋田村に移す
1583年	11年	成田重政が袋田へ入城。顕海が平泉寺を再興する
	文録年間	勝山の名が史料に初めて見える (1592～96)
1598年	慶長 3年	太閤検地が実施される
1601年	6年	結城秀康が越前に入部。勝山には9,840石で林長門が駐在する 勝山3町(郡町・後町・袋田町)の名が史料に初めて見える
1624年	寛永元年	松平秀康の5男松平直基が勝山藩(3万石)を統治する
1636年	12年	松平秀康の6男松平直良が勝山藩(3万5千石)を統治する
1644年	正保元年	勝山領は幕府領となり、福井藩預かりとなる
1675年	延宝 3年	勝山町大火
1686年	貞亨 3年	越前の幕府領が27万石となり勝山も幕府領となる。勝山に幕府代官所 が置かれる
1691年	元禄 4年	小笠原貞信が高須から勝山藩主(2万2,777石)として移封
1692年	5年	大野郡内に井上氏郡上藩が成立する
1697年	10年	藩の年貢増徴策に対し元禄騒動起こる
1708年	5年	勝山城の築城が認められる (2代信辰)
1720年	享保 5年	鯖江藩が成立し、鹿谷地区6村が同藩領となる
1726年	11年	女神川の氾濫で平泉寺・猪野口・下荒井村など大被害(死者99名)
1729年	14年	神明角力(後の御前相撲)の名が史料に初めて見える
1746年	延享 3年	勝山町大火で家中含め458軒焼失。3町の家数630軒、人数3,273人

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1748年	寛延元年	どんど(左義長)の名が史料に初めて見える
1749年	2年	3町に羽織組・火桶組などの火消制度が設けられる
1756年	宝暦 6年	勝山藩領内の家数2,718軒、人数12,043人
1781年	安永10年	勝山町大火で家中も含め660軒余焼失
1782年	天明 2年	町火消しを組織(袋田町・後町・郡町火消組3組)
1783年	3年	当時戸数2,868軒、人口11,561人
1789年	寛政元年	大洪水で後町浸水、三谷山が崩れ人6名と馬1頭犠牲となる
1793年	5年	六代長教、二ノ丸櫓台、三ノ丸土居と堀を築造する
1799年	11年	勝山大火で家中も含め320軒余焼失
1811年	文化 8年	奥山の大杉沢の伐採をめぐり大杉沢騒動が起こる
1815年	12年	九頭竜川大洪水
1822年	文政 5年	勝山城御殿より出火し、門・土蔵・高塀を残して焼失
1823年	6年	勝山城は町・郷からの見舞金で復興、瓦と桧皮葺の御殿が完成する
1825年	8年	九頭竜川大洪水
1836年	7年	天保の飢饉が続く、城下に打ち壊し、貧民・死者が続出する(1833～39)
1840年	天保11年	8代藩主長守のもと林毛川は藩政改革を開始する
1841年	12年	勝山藩の藩校読書堂設立される(翌々年成器堂と改称) 長淵町・滝波村・田名部村など200軒焼失
1845年	弘化 2年	火消組が青赤黄白黒の5組となる
1848年	嘉永 元年	長山鉄砲場に講武台の建設を開始する (7年後の安政2年に完成)
1850年	3年	勝山藩、はじめて大砲を鑄造する
1853年	6年	勝山藩「煙草改会所」を設置する
1857年	安政 4年	勝山藩「煙草改会所」を「産物改会所」と改称する
1860年	万延 元年	九頭竜川大洪水
1870年	明治 3年	平泉寺の名称を廃し白山神社となる
1871年	4年	廃藩置県で7月勝山県など10県成立。11月福井県に、12月足羽県と改称され合併される
1872年	5年	郡町に勝山郵便取扱所が設置される。市域の人口28,777人 学制発布により成器小学校を設置(前身は勝山小学校)
1873年	6年	足羽県を廃し、越前・若狭を合わせて敦賀県となる
1876年	9年	敦賀県を廃止し、現市域は石川県26大区に所属となる 勝山製糸会社(三の丸製糸)が設立される
1878年	11年	大野郡成立。郡に郡長、町村に戸長を置く
1881年	14年	福井県設置される。大野警察署勝山分署設置される
1884年	17年	連合町村が設置され勝山地区には11の連合戸長役場が設けられる
1889年	22年	町村制実施され勝山町・猪野瀬村・平泉寺村・村岡村・野向村・ 北谷村・遅羽村・荒土村・北郷村・鹿谷村(1町9ヶ村)
1896年	29年	勝山町大火、町屋が1,025軒焼失し瀧波村、新保村も類焼して101軒 焼失。死者5名、負傷者32名。九頭竜川弁天堤防築堤
1897年	30年	勝山葉煙草専売所開設される
1902年	35年	勝山街道(勝山～福井間)に乗合馬車が開通
1910年	43年	勝山町に特設市外電話が開通

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1912年	大正元年	下荒井に簡単な鉄線懸木造り橋が架橋
1914年	3年	福井～勝山～大野間電車開通(越前電気鉄道創設)
1915年	4年	勝山橋架橋
1920年	9年	第1回国勢調査
1921年	10年	小舟渡に船橋に代わって小舟渡橋が架橋
1930年	昭和 5年	旧玄成院庭園が国指定名勝となる
1931年	6年	猪野瀬村を勝山町に編入
1932年	7年	人絹織物業が盛んとなり、工場数69、工員3,000人、生産額1,300万円
1933年	8年	成器女子校・町役場焼失、翌日尊光寺も焼失
1935年	10年	白山神社境内が白山平泉寺城跡として国指定史跡となる
1937年	12年	勝山橋の木橋の一部が流失、鉄筋コンクリート橋に改修
1942年	17年	私立勝山精華女学校開校
1946年	21年	勝山病院開設
1948年	23年	勝山高等学校開校 谷トンネル開通
1949年	24年	勝山商工会(勝山商工会議所の前身)創立
1950年	25年	勝山中学校及び成器南小学校新築落成
1954年	29年	1町8箇村合併し市制施行(初代市長 山内継喜)
1956年	31年	雁が原スキー場オープン 財政再建団体の指定
1957年	32年	勝山北部中学校開校
1958年	33年	新市庁舎落成
1959年	34年	伊勢湾台風猛威(被害3億8千万円)
1961年	36年	市消防本部、市消防署設置 第2室戸台風(被害2億3千万円)
1962年	37年	市有林100万本植樹完了 白山国定公園が国立公園に昇格 電話自動化
1963年	38年	38(サンパチ)豪雪(被害10億5千万円) 勝山橋架け替え工事完成 勝山総合病院移転完成(村岡町郡) 市上水道建設事業竣工 農業構造改善事業計画地域としての指定及び 低開発地域工業開発地区の指定 市議会議員の選挙を大選挙区制に変更を決議
1964年	39年	勝山新大用水完成 市制10周年記念行事実施 勝山都市計画正式決定
1965年	40年	市農協誕生及び市農業センター完成 緊急道路整備3箇年計画に着手 40.9三大風水害(被害総額18億円)
1966年	41年	交通安全都市宣言及び青少年愛護都市宣言 福井～勝山線県道舗装完成 新住居表示実施

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1966年	昭和41年	市営火葬場落成
1967年	42年	勝山中部中学校校舎完成 市民会館落成
1968年	43年	第23回国民体育大会(勝山市において4種目開催) 財政再建団体の指定 下荒井隧道・市荒川大橋完成
1969年	44年	下荒井橋完成
1971年	46年	雇用促進住宅「下毛屋宿舎」、勤労者体育センター、 老人センター「平泉寺荘」完成 大野・勝山地区広域市町村計画策定
1972年	47年	国道157号新谷トンネル開通
1973年	48年	勝山市総合振興計画決定
1974年	49年	勝山南部中学校開校(中学校統合計画完了) 京福電鉄越前本線勝山～大野間廃線 市制20周年記念行事実施
1975年	50年	財政再建計画5年短縮して完了 成器西小学校が旧勝山中学校跡へ移転 勝山市名誉市民条例制定
1976年	51年	教育福祉会館落成 名誉市民第1号多田清氏 多田育英基金設立 中央公園完成 市公共下水道事業着手
1977年	52年	農村総合整備事業着手 市農協カントリーエレベーター完成(伊波)
1978年	53年	市営庭球場及び市営弓道場完成 勝山・上志比衛生センター完成
1979年	54年	北児童センター完成 長山公園グラウンド夜間照明施設完成 一般国道157号開通(谷峠付近)
1980年	55年	東山いこいの森完成 市農協カントリーエレベーター完成(岡横江)
1981年	56年	56豪雪(被害61億1千万円) 勝山市新総合振興計画基本構想の策定 消防本部、消防署発足20周年記念行事実施 商工会議所創立30周年記念行事実施 南児童センター完成
1982年	57年	2市1村の連携による奥越青少年愛護センターを設置 越前大仏起工式 西児童センター完成 遅羽農村環境改善センター落成
1983年	58年	勤労婦人センター完成 B&G財団勝山海洋センター完成

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1984年	昭和59年	市の木「スギ」、市の花「サツキ」を制定 林業者健康トレーニングセンター完成 市営住宅本町団地完成 南保育園完成 野向小学校校舎完成 長山トンネル開通 雁が原青少年旅行村開設 越前大仏大門・中門・回廊起工式 市制30周年記念行事実施
1985年	60年	荒土小学校校舎完成 克雪センター完成 浄化センター通水式 奥越地域地場産業振興センター竣工式 国道416号・バイパス伊波～滝波間開通 クリーンセンター火入れ式
1986年	61年	奥越花卉集出荷場竣工式 温泉ボーリング調査起工式(村岡町浄土寺地係) 全市域ごみ収集開始 農業共済事業奥越で広域化 国道157号谷トンネル付近で土石流発生 北郷児童センター落成 国が選ぶ水辺環境100選に「弁天緑地」 日本の道100選に「中宮平泉寺参道」
1987年	62年	林道河合線完成 特別養護老人ホーム「さくら荘」落成 越前大仏開眼・落慶法要 勝山市日中友好協会設立
1988年	63年	村岡小学校第2体育館落成 勝山北部中学校体育館落成 さくら荘デイサービスセンター落成 鹿谷児童センター落成 市農協開館落成 北谷町杉山で1億2千万年前の肉食恐竜の化石発見 広域基幹林道「法恩寺線」全線開通 勝山商工会館新築落成
1989年	平成元年	勝山南高等学校開校(旧勝山精華高等学校) (社)シルバー人材センター発足 一般廃棄物(不燃物)最終処分場「グリーンヒル上野」完成 「平泉寺坊院跡」発掘調査開始
1990年	2年	第3次勝山市総合振興計画基本構想の策定 ニューメディアコミュニティパソコン実験ネット開局 温泉センター「水芭蕉」落成 アイドルキャラクター「チャマゴン」誕生(10/10)

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1991年	平成3年	消防庁舎落成 アスペン音楽祭開催(第1回) 市立図書館落成
1992年	4年	温泉センター「ふれあい会館」落成 白山国立公園昇格30周年記念事業実施 野向小学校体育館落成 ふるさと森林館落成 法恩寺山・芳野原リゾート開発本格着工 蓬生坂トンネル開通 越前勝山城博物館落成
1993年	5年	法恩寺有料道路開通 デイサービスセンター「九頭竜」落成 平泉寺保育園新築 勝山南大橋開通 老人保健施設「鷺巣苑」落成 スキージャム勝山オープン
1994年	6年	恐竜文化賞を創設、全国から児童文学作品などを募集 福祉バス運行開始 市制40周年記念事業実施 「ゆとり創造宣言都市」の指定 米国アスペン市と友好都市提携調印
1995年	7年	勝山市老人保健福祉計画策定 阪神・淡路大震災被災地に救援物資を輸送 まちづくり景観条例を制定 市営南大橋住宅が完成 印鑑登録オンライン化
1996年	8年	「京福電車存続対策勝山市民会議」を結成、存続運動が活発化 老人保健施設「シルバーケア九頭竜」落成 勝山橋本橋工事開始 小松市、白峰村と災害相互応援協定締結 白山禅定道が「歴史の道百選」に選ばれる 子育て支援センター開設 県が県立恐竜博物館(仮称)を長尾山に建設決定 県立クレール射撃場オープン 「恐竜文化賞」の絵本などを発刊
1997年	9年	勝山市緑の基本計画策定 国史跡「白山平泉寺旧境内」拡大指定 あさひ公園完成 洛陽市交流10周年、越前大仏落慶10周年記念合同事業実施 長尾山総合公園事業着工 北谷小学校廃校 「桜づつみ」に建設省「手作り郷土賞」 雇用促進住宅「サン・コーポラス鹿谷」完成

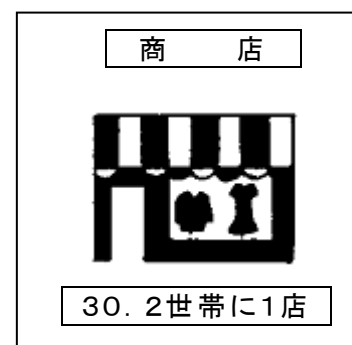
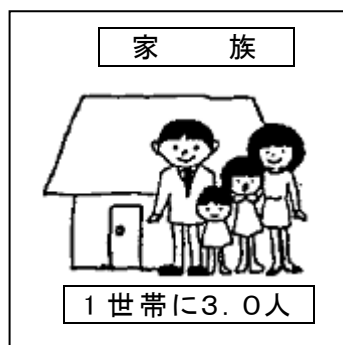
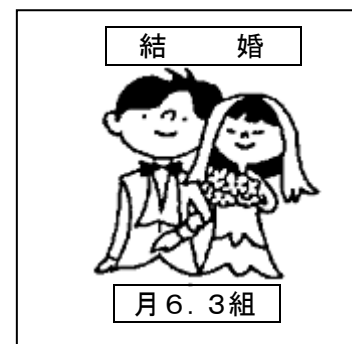
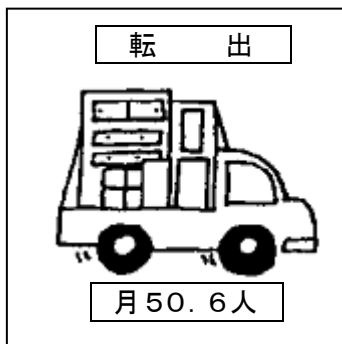
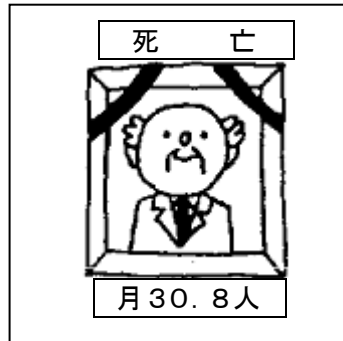
西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1997 年	平成 9 年	都市計画道路「元禄線」完成
1998 年	平成 10 年	京福電車と地球を愛する会発足 かつやま子どもの村小学校開校（旧北谷小学校跡地） 特別養護老人ホーム「さつき苑」落成 県立恐竜博物館着工 中部縦貫自動車道勝山地係で着工 ふくい県民長寿祭勝山で開催 「恐竜エキスポふくい 2000」勝山市実行委員会発足 ロードパーキング「恐竜街道」オープン
1999 年	11 年	中部縦貫自動車道油坂峠道路開通 福井社会保険病院移転開業（旧勝山病院） 老人保健施設「サンビューかつやま」落成 第 2 回恐竜文化賞作品を募集 チャマゴンにガールフレンド「チャマリン」誕生（7/27） ふれあい交流館「勝山ニューホテル」オープン ねんりんピック'99 福井（ウォークラリー会場）
2000 年	12 年	チャマゴン・チャマリン路線バス運行開始 新勝山橋開通 「いきいきかつやま健康づくりプラン」第 3 次保健計画策定 勝山市老人保健福祉計画・勝山市介護保険事業計画策定 市街地循環福祉バス「きらめき号」運行開始 福井県立恐竜博物館オープン 恐竜エキスポふくい 2000 開催（7/20～9/17） 「活力あるまちづくり」自治大臣賞受賞
2001 年	13 年	第 4 次勝山市総合計画基本構想の策定 第 1 回「ふるさとルネッサンスの集い」開催 火葬場「和みの杜」完成 第 4 3 回県緑化大会開催 市民の声・メールボックスの設置 京福電車存続総決起集会開催 京福電車正面衝突事故 勝山消防本部・署発足 40 周年記念式典開催 平泉寺白山神社境内の杉と鮮苔（せんたい）のかおりが「かおり風景 100 選」に選ばれる 白山文化フォーラム in 勝山 01 開催 電車存続県民総決起集会
2002 年	14 年	勝山市コミュニケーションデザインを制定 「かつやま歩こう会」発足 荒土公園「おもしろわいわい恐竜公園」完成 「アクションプラン 21」教育シンポジウム開催 「第 4 次勝山市総合計画基本計画」策定 勝山夏まつりウィーク「勝ち山夏物語」はじまる 毎月 21 日を「健康の日」に制定 第 3 セクター「えちぜん鉄道株式会社」設立

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
2002年	平成14年	「勝山市子どもセンター」開設 奥越地域地場産業振興センター内「インキュベート施設」業務開始 「勝山市エコミュージアム推進計画」策定 地域イントラネット開通 鉄道存続のまちサミットINかつやま
2003年	15年	「勝山市男女共同参画基本計画」策定 「勝山市都市計画マスタープラン」策定 「岩屋オートキャンプ場」完成 「勝山市エコミュージアム協議会」設立 市民活動センター開所 「えちぜん鉄道」勝山ー永平寺口間開業により全線開通 福祉健康センター「すこやか」起工
2004年	16年	関西学院大学ワンダーフォーゲル部 加越国境冬山登山遭難事故から14人全員救出 平成24年度を目標年次とする 「勝山市行財政改革大綱」改訂版及び実施計画書を策定 遅羽児童館を開設 公共施設インターネット予約申請を開始 市制50周年記念事業実施 福井豪雨 市民対話集会を各地区10会場で開催 スポレク福井2004開催(勝山市はトランポリンとマラソン競技を開催)
2005年	17年	福祉健康センター「すこやか」完成 地域再生計画が国の認定を受ける 大清水空間・広場周辺整備(まちづくり交付金事業)完成 福井県総合防災訓練実施 国民文化祭(IT文化フェスティバル、恐竜文化フェスティバル)開催 第1回勝山恐竜クロカンマラソン開催 勝山市雪害対策室設置(平成18年豪雪)(被害額8億6千万円)
2006年	18年	中間処理施設「ビュークリーンおくえつ」(大野市南新在家)、 埋立処分施設「エコバレー」稼動 「平泉寺」「旧玄成院庭園」「越前禅定道」を世界遺産暫定リストへ 登録申請
2007年	19年	旧木下機業場を「勝山市旧機業場」として市指定文化財に登録 「市営温水プール」オープン 北谷町で国内初の恐竜皮膚痕化石確認 「国史跡白山平泉寺旧境内」で14世紀頃の 中国製青白磁観音像が出土 『フォーブス(電子版)世界のクリーンな都市ランキング』で、 勝山市が第9位にランクイン 杉山橋開通 経済産業省の近代化産業遺産として勝山市旧機業場などが認定

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
2008年	平成20年	勝山左義長が福井県指定無形民俗文化財に指定 北谷町杉山で大型草食恐竜(竜脚類)の化石が相次いで発見 史跡白山平泉寺旧境内総合整備事業が始まる 勝山市地域職業相談室「マイワークかつやま」を (財)奥越地域地場産業振興センターに開設 浄土寺川ダム完成
2009年	21年	「はたや記念館ゆめおーれ勝山」オープン 「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク」が日本ジオパークに認定 中部縦貫自動車道 勝山-上志比間が開通 関西学院大学と包括連携協定を締結 デジタル防災行政無線開局
2010年	22年	小中学校再編・新体育館建設における素案を市民に提示 旧木下家住宅(附普請関係文書6冊)が国重要文化財に指定 市内各地でクマの被害相次ぐ
2011年	23年	5年ぶりに雪害対策室設置 東日本大震災被災地・被災者への独自支援 環境保全推進コーディネーター、観光プロデューサーを採用 深谷家住宅洋館・料亭板甚蔵座敷・旧料亭花月楼が 国の登録文化財に指定 えち鉄勝山駅周辺整備が完成
2012年	24年	平成30年福井国体バドミントン競技開催地が勝山市に決定 第20回環境自治体会議「かつやま会議」開催 「白山平泉寺歴史探遊館まほろば」完成 「勝ち山おろしそば」ブランド化 恐竜ナンバープレート交付
2013年	25年	中部縦貫自動車道 勝山-大野間が開通 勝山駅舎の改修および周辺整備が完成 地場産センターから市民交流センターへ 国史跡白山平泉寺旧境内に門と塀を復元
2014年	26年	勝山市制60周年記念事業を開催 市内公立小中学校12校がユネスコスクールに加盟 小浜市との都市間交流開始 全国ホテル研究会開催 日本エコミュージアム研究会全国大会開催
2015年	27年	「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク」が日本ジオパークに再認定 英語教育強化地域拠点事業に指定され先行的な英語教育を推進 福井労働局と「雇用対策協定」を締結。北陸3県で初の協定締結

資料：市史編纂室、秘書・広報課

市民生活



自家用自動車




1世帯に2.5台

交通事故



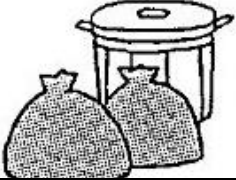
月2.4件

火災



33.2日に1件

ゴミ排出量




1世帯1日当たり
2.9kg

上水道




1人1日当たりの使用量
0.30m³

下水道+農業集落排水



水洗化率87.5%

市税



市民1人当たり
121,433円

市の予算



市民1人当たり
896,127円

※算出にあたっては、世帯数及び人口については平成28年4月1日現在の住民基本台帳人口による世帯数(8,030世帯)及び人口(24,359人)を、その他のデータについては最新の数字を基礎にした。

※「市の予算」については平成27年度一般会計歳出決算額、特別会計歳出決算額(公営企業会計を除く。)の合計額を用いた。